

平成25年11月12日
一般社団法人日本ガス協会
会長 尾崎 裕

ガスシステム改革の議論を進めるにあたって

ガスシステム改革の目的は、新たなサービスやビジネスの創出などで拡大するガス市場において新規事業者が加わり、競争環境の活性化による価格の抑制など、お客さまメリットの向上を目指すことだと認識しています。

そのためには、まずエネルギー基本計画において天然ガス利用拡大や分散型エネルギーシステム普及が明確化され、電力システム改革の中で、ガスコージェネレーションや燃料電池などの電力が、より適正に評価・活用される制度を実現することが求められます。

これにより、分散型エネルギーシステムの普及や天然ガス利用拡大が加速され、新しい技術、新しいビジネスモデル等を持った事業者が参画し、新たな都市ガスマーケットを作り出すと考えます。

その上で、都市ガス事業の特性（事業者規模、競争環境、広域パイプラインが未整備等）を考慮しつつ、「原料の安定調達」、「安定供給」、「保安の維持・向上」を含めた幅広い観点から、お客さまメリットの向上を目指す必要があると考えます。

私たちは、引き続き、お客さまにどのような貢献ができるか、ひいては日本経済全体の発展に役立っていくか、との視点を持って積極的に議論に関わっていきたいと考えています。

以上